



Letter from P_CARE

2024year.Ver4



みんなで違いを
知っておこうね



乳幼児に現れる症状の違いは、若干その特徴を挙げられますが、個人差もあるため断定はできません。自己判断せずに病院で受診し、正しい診断を受けることをお勧めします。

病名	インフルエンザ	かぜ症候群	新型コロナウイルス感染症
主な症状	突然 38～40 度の高熱・頭痛・咳・鼻水などの風邪症状。重度の倦怠感や関節痛・筋肉痛。下痢や嘔吐を伴うこともある。熱は 2～3 日で下がるが、全身症状は 1 週間程続く	ウイルス感染後数日で鼻水や咳・くしゃみ・微熱などの症状が出る。徐々に熱が上がり、呼吸が速くなる。発症後 2～3 日がピークで 1 週間程かけて少しずつ症状が軽くなる。ウイルスによっては下痢・嘔吐や合併症を伴うことがある。	37.5 度以上の発熱・倦怠感。鼻水・咳やのどの痛みなどの風邪症状。嘔吐・下痢など消化器症状・嗅覚や味覚障害を起こす場合がある
主な感染経路	飛沫・接触感染	飛沫・接触感染	飛沫・接触感染
潜伏期間	1～4 日（平均 2 日）	3～6 日	1～14 日（平均 4～5 日）
感染が強い期間	発症前 24 時間～ 発症後 3 日程度	発症後 1～2 日	発症前 2 日～ 発症後 7 日程度
気をつけたい合併症	中耳炎・気管支炎・肺炎 インフルエンザ脳症 熱性けいれん	気管支炎・肺炎 急性中耳炎	肺炎など
注意点	抗ウイルス剤を服用した場合、解熱は早いのですが、ウイルスの排泄は続くので排泄物の取り扱いには注意する。手洗いや消毒・マスク着用。また加湿器などを用いて室内の湿度を高めたり、室内温度を高めを保って感染予防をしましょう	3 日以上症状が続き、黄色や緑色の鼻水が出たり、咳が止まらなかったりした場合は、中耳炎・副鼻腔炎（蓄膿）や肺炎などに進行している可能性があります。手洗いや消毒・マスクの着用などで感染予防をしましょう	感染しても発症せず、無症状の人も多い。手洗いや消毒・マスクの着用といった基本的な感染症対策を行うことで予防しましょう

感染症にかからないためにも、広めないためにも、手洗い・うがい
手指消毒・咳エチケットなどを徹底することが大切です
そして、何よりもしっかり **食べる・遊ぶ・寝る・笑う** が日頃からの
免疫力 UP に繋がっていくのではないのでしょうか♡



違いが分かったかな？
それぞれに効果のあるお薬
をもらおうといいね